

【滝川市】校務D X計画

1 校務システム

平成31年度より統合型校務支援システムを導入し、校務管理・学籍管理・成績管理・保健管理や教員同士の情報共有のデジタル化を推進し、教職員の資質・指導力の向上を図ることで、圏域内における情報連携や教職員が異動した際にも変わらず使用できる環境を整備してきた。

今後、デジタル採点システムや連絡システム等を活用し、各種会議におけるペーパーレス化等、様々なI C Tを活用し校務の効率化を実現することにより、教職員の働き方改革の推進を検討していく。

また、校務支援システムのリプレイスに併せて次世代のクラウドサービスへの導入を予定している。その際には、児童生徒のA Iドリル等と連携し、校務支援システムへの名簿情報や成績管理と結びつくシステムとする等、不必要な手入力作業を一掃するなど校務系と教育系がシームレスに繋がる効率的かつ効果的なシステム作りについて検討を進める。

2 ファックス・押印の原則廃止

令和5年12月に文部科学省が公表した「G I G A構想の下での校務D X化チェックリスト」に基づく自己点検結果の報告によると、一部でまだ保護者・外部とのやりとりで押印・署名が必要な書類があり、クラウド環境を活用した校務D Xを大きく阻害していることが指摘されていることから、災害や教育ネットワークの不具合時などファックスの方が電子メール等より効率的な場合を除き、ファックス・押印の原則廃止に向けて、各種関係機関及び学校と関わりのある事業者に対して、教育委員会から慣行の見直しを依頼するなど、継続的に働きかけを行う。